

資料1

「町田市いきいき長寿プラン21-23」における2021年度の介護保険事業の総事業費等について

【説明】

- 1（1）の表は、2020年度と2021年度の2ヶ年の実績値比較です。また、1（2）の表は、「町田市いきいき長寿プラン21-23」における計画値と実績値の比較です。
- 1（1）「総人口」の1,407人増のうち半数以上（771人増）が「第1号被保険者数」が占めている状況です。その結果、「高齢化率」も0.1ポイント上昇しています。また、認定者数については、「要支援者数」「要介護者数」とともに増加しています。
- 大きな傾向としては、年齢別で人口増減の状況を見ると、前年比で前期高齢者人口が減少する一方、後期高齢者人口が増加しており、介護リスクが高くなる後期高齢者比率の上昇により、65歳以上人口の増加に対する認定者数増加の割合が高くなっています。
- 1（2）の計画値との比較では、「総人口」、「高齢者人口」、「高齢化率」、「認定者数」の全てにおいて、実績値が計画値を下回りました。
- 1（1）の「居宅」は訪問介護などの居宅サービス、「地域密着」は認知症対応型デイ等の地域密着型サービス、「施設」は特別養護老人ホーム等の介護保険施設の施設サービスの受給者数を表しています。
- 「施設」の「療養型」の欄は、介護療養型医療施設を表しており、31人減少しています。これは、全国的に2023年度末で介護療養型医療施設が廃止されるためで、2021年度は介護療養型医療施設から介護医療院への転換が進んだことにより、介護療養型医療施設の受給者数が減少し、介護医療院の受給者が増加していると考えられます。
- 次頁の表「2総事業費」は、2020年度と2021年度の2ヶ年の計画値と実績値をそれぞれ比較したものです。
- 「①介護給付費」、「②予防給付費」、「イその他経費」、「C地域支援事業費」の実績値が、それぞれ計画値を下回りました。要因としては、認定者数が計画値で想定した人数を下回ったことが考えられます。
- 「A総事業費」について、2021年度の執行率（計画値に対する実績値）は93.5%となり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたと考えられる状況のなか、全体としては推計値との大きな乖離もなく、概ね計画の枠内で保険給付を行うことができたと考えています。

資料2

「町田市いきいき長寿プラン21・23」の2021年度進捗状況評価について

【説明】

- 「町田市いきいき長寿プラン21・23」の進捗状況は「◎（計画以上に進んでいる）」、「○（おおむね計画どおり進んでいる）」、「△（計画どおり進んでいない）」の三段階で評価しています。詳しい評価基準については1ページ最下部の凡例をご覧ください。
- 1ページには取組みごとの進捗状況を一覧で掲載しています。
- 「◎（計画以上に進んでいる）」が取組数で16、全取組の32.0%、「○（計画どおり進んでいる）」が取組数で27、全取組の54.0%となっており、合計43、86.0%の取組が計画以上、またはおおむね計画どおりに進捗しています。
- 前計画（第7期町田市介護保険事業計画）の2020年度の進捗評価と比較した場合、「◎（計画以上に進んでいる）」の割合が10.5%から30.0%へ大幅に増加した一方、「△（計画どおり進んでいない）」が26.3%から14.0%へ大幅に減少しています。
- 2020年度の評価結果は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けたものであったことから、2021年度は適切な感染拡大防止対策と事業の推進の両立が進んだものと分析しています。
- 2ページ以降は各取組みの進捗状況につきまして個別に記載をしています。

資料 3 - 1

「町田市いきいき長寿プラン 2 4・2 6」策定に向けた各種調査の実施について

【説明】

- 調査の種別は、大きく 3 つに分けられます。
- 1 つ目は、「市民向け郵送調査」です。
- 市民向けの郵送調査は、更に調査対象別に「健康とくらしの調査」と「市民ニーズ調査」の 2 種類に分けられます。
- 「健康とくらしの調査」は、厚生労働省指定の全国一律調査である「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」に市の独自項目等を追加して実施するものです。調査対象は、一般高齢者や総合事業対象者、要支援 1・2 の方です。主な調査項目としては、外出頻度などの生活状況や、運動器や口腔機能、認知機能などの低下リスク判定、地域活動への参加状況等を予定しています。
- 「市民ニーズ調査」は、「健康とくらしの調査」では把握することのできない、要介護 1 以上の方のニーズを把握するために実施する町田市独自の調査となります。調査対象は要介護 1～5 の方及び特養待機者で、日中独居などの生活状況や、特養入所申込理由などを調査する予定です。
- 2 つ目の「事業所向け郵送調査」は、市内介護保険事業所等を対象に、事業所運営の課題や、人材確保の状況、参入意向等を聞く調査です。
- こちらの調査は喫緊の課題である介護人材に係る市内の現状把握や、施設整備計画の方針を検討する上での活用を考えています。
- 3 つ目の「市民向け聞き取り調査」は、厚生労働省指定の全国一律調査であります「在宅介護実態調査」を実施するものです。
- この「在宅介護実態調査」は、要介護認定審査に係る訪問調査にあわせ、認定調査員の聞き取りにより実施するアンケート調査であり、調査結果は「在宅生活の継続」や「介護者の就労継続」に係る施策に反映していく予定です。
- この「在宅介護実態調査」は、前回 2 0 1 9 年度実施時と同内容で実施することとなっているため、既に 7 月から調査を開始しています。
- 1 2 月には、目標回収枚数である 6 0 0 枚の調査を完了する予定です。
- 以上が実施予定の調査の概要です。各調査の具体的な調査項目（案）については資料 3 - 2 から資料 3 - 6 をご覧ください。

資料 3 - 2

「健康とくらしの調査」調査票（国等指定分）

【説明】

- 全国一律で実施する共通項目であるため、参考としてご覧ください。
- 調査項目は全調査対象者へ実施する「コア」、調査対象者を半分に分けて実施する「サブコア 1～2」、調査対象者を 8 グループに分けて実施する「V e r . A～H」の 3 層構造となっています。

資料 3 - 3

「健康とくらしの調査」調査票（市独自分）（案）

【説明】

- 「健康とくらしの調査」に追加する、市の独自項目になります。今回実施分より、高齢者へのデジタル機器の普及状況を確認する項目や、認知症に関する取組の認知度を確認する項目等を追加しています。

資料 3 - 4

「高齢者の福祉や介護に関するアンケート調査【市民ニーズ調査】」調査票（案）

【説明】

- 全ての項目が市の独自項目となります。継続したデータによる経年比較を行う等の観点から前回 2019 年度実施時の調査項目は原則継続調査を行う予定です。また、今回実施分より災害時の要配慮者の避難支援を検討する際の参考にするために、避難支援が必要な方がどれだけいるかを確認するための項目等が追加となっています。

資料 3 - 5

「高齢者の福祉や介護に関するアンケート調査【事業所調査】」調査票（案）

【説明】

- 全ての項目が市の独自項目となります。調査書案の策定にあたりましては、事前に「町田市地域密着型サービス運営委員会」の委員の皆様からのご意見をお伺いしたうえで反映を行っています。項目数につきましては、前回 2019 年度実施時から大幅に追加を行うことにより、より充実した調査を目指します。

資料 3 - 6

「在宅介護実態調査」調査票

【説明】

- 全国一律で実施する共通項目であるため、参考としてご覧ください。
- 前回の 2019 年度実施時から調査項目に変更はありません。